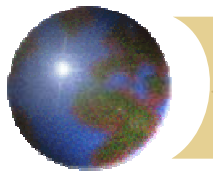


変貌するブラジルのビジネス 環境

2005年8月

ジェトロサンパウロセンター

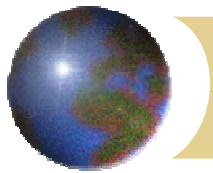
所長 桜井悌司



ブラジルの従来イメージ

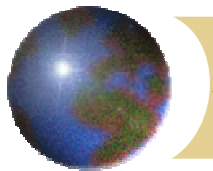
- ❖ サンバ、カーニバル、コーヒー、サッカー
- ❖ 未来の大国
- ❖ 資源の宝庫





ラテンアメリカにおけるブラジルの地位

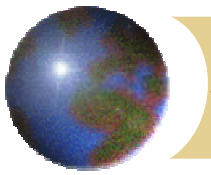
- ❁ GDP : 2003年におけるラテンアメリカのGDPは1兆7,416億2,900万ドル。うちブラジルは29% (5,057億ドル) を占める。
- ❁ 人口 : 2004年におけるラテンアメリカの人口は5億4,323万人。うちブラジルは34% (1億8,500万人) を占める。
- ❁ 面積 : ラテンアメリカの面積は約2,000万平方キロ。うちブラジルは43% (855万平方キロ) を占める。



BRICs 各国主要経済指標

	Brazil	Russia	India	China
GDP 2004 (Millions US\$)	604,855.0	582,395.0	691,876.0	1,649,329.0
Annual Percent Change (Real GDP 2003-04)	4.9	7.1	7.3	9.5
GDP Per capita 2004 (US\$)	3,090.0	3,410.0	620.0	1,290.0
Merchandise exports, f.o.b. (Millions US\$) 2003	73,084.0	135,930.0	57,085.1	438,371.0
Merchandise imports, c.i.f. (Millions US\$) 2003	50,696.8	74,231.0	71,237.9	412,836.0
FDI (Millions US\$) 2003	10,144.0	1,144.0	4,269.0	53,505.0
International Reserves (Millions US\$) 2003	49,297.0	78,409.0	103,737.0	416,199.0
Total External Debt (Millions US\$) 2003	235,431.0	175,257.0	113,467.0	193,567.0
Public and publicly guaranteed debt services (% of exports of goods, services, and income)	23.40	7.10	18.10	2.80

出所:IMFなど

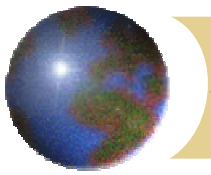


B R I C s の比較

表 B R I C s 諸国の特徴比較

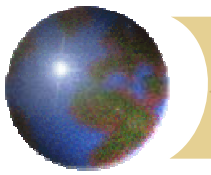
	● ブラジル	● ロシア	● インド	● 中国
● 投資にあ ● たっての特 ● 徴	● 一人当たりGDPが他の国より高い。産業が多様。	● 石油など炭化水素産業、軍需産業が非常に発展している。	● 英語を話す質の高い労働力が豊富。	● 安い労働力。国内市場の急速な拡大。
● 課題	● 高等教育に対する十分な政策が不在。 ● アに対する競争力 ● 失い、農業ビジネスに依存する危険性あり。	● 不安定な国内政治。 ● 石油・天然ガス分野で高い投資需要。武器の輸出で対外摩擦のリスク。	● 国民の大部分が極端な貧困層。市場開放と保護主義が混在する矛盾した経済政策。	● 増加する海外市場依存。輸入原材料に対する需要加熱。政治企業セクターにおける低い自由度。
● 現在の政 ● 策	● 市場開放政策の導入。輸出市場の多様化。農業および複数の産業分野で潜在的な可能性。	● 中央政府が経済の戦 ● 略的分野のコント ● ール回復を図る。	● 多国籍企業からのサービス受注が可能な科学技術分野に重点を置く。	● 高等教育(特に科学術分野)の重視。製 ● 付加価値の向上。

● 出所: Deloitte



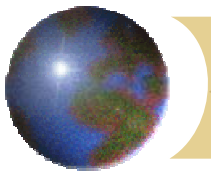
ブラジルが世界に誇る天然資源

農産品 生産量		
コーヒー	199万トン(世界第1位)	2003年、FAO
さとうきび	3億8,623万トン(世界第1位)	2003年、FAO
大豆	5,155万トン(世界第2位)	2003年、FAO
オレンジ	1,722万トン(世界第1位)	2003年、FAO
牛肉生産量	723万トン(世界第2位)	2003年、FAO
鶏肉生産量	776万トン(世界第2位)	2003年、FAO
鉱産品 生産量		
鉄鉱石	2億3,400万トン(世界第2位)	2003年、MME
アルミニウム	1736万トン(世界第2位)	2003年、MME



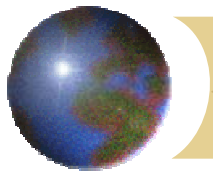
ブラジルの政治

- 労働組合出身の国民のカリスマ的大統領
- 左派的な公約とは裏腹に中道左派路線へ
- 前政権から引き継ぐ堅実な経済運営
- PT色の薄いパロッシ財務相、メイレーレス中銀総裁を中心とした保守的な経済政策
- 2005年上半期に相次いだ政治スキャンダル
- 2006年大統領選挙の行方に注目



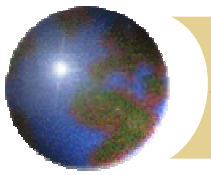
好調なブラジルのマクロ経済

- ❁ **財政収支の好転**：2004年における公的セクターのプライマリー収支黒字(いわゆる政府の財政収支、金利支払い分を除く)は、811億1200万レアル(280億ドル、1ドル = 2.9レアル換算)と前年比でさらに改善。GDP比は4.61%と、IMFと約束した2004年の目標値4.25%を大幅に超えている。
- ❁ **好調な貿易収支**：2004年の貿易収支黒字は336億9,600万ドルと過去最高を記録。輸出の増加が主要因で、輸出額は前年比32%増の964億7,500万ドル、輸入額は同30%増の627億7,900万ドル。
- ❁ **経常収支黒字達成**：2004年の経常収支は116億6,900万ドルと前年に引き続き黒字を記録。ブラジルは2003年に92年以来ではじめて経常収支黒字を記録。
- ❁ **カントリーリスクの大幅低下**：2002年9月に記録した2,443ポイントから2005年8月15日時点では396ポイントに低下。同時点でメキシコは149ポイント、アルゼンチンは412ポイント。(JP MorganによるEMBI指標)



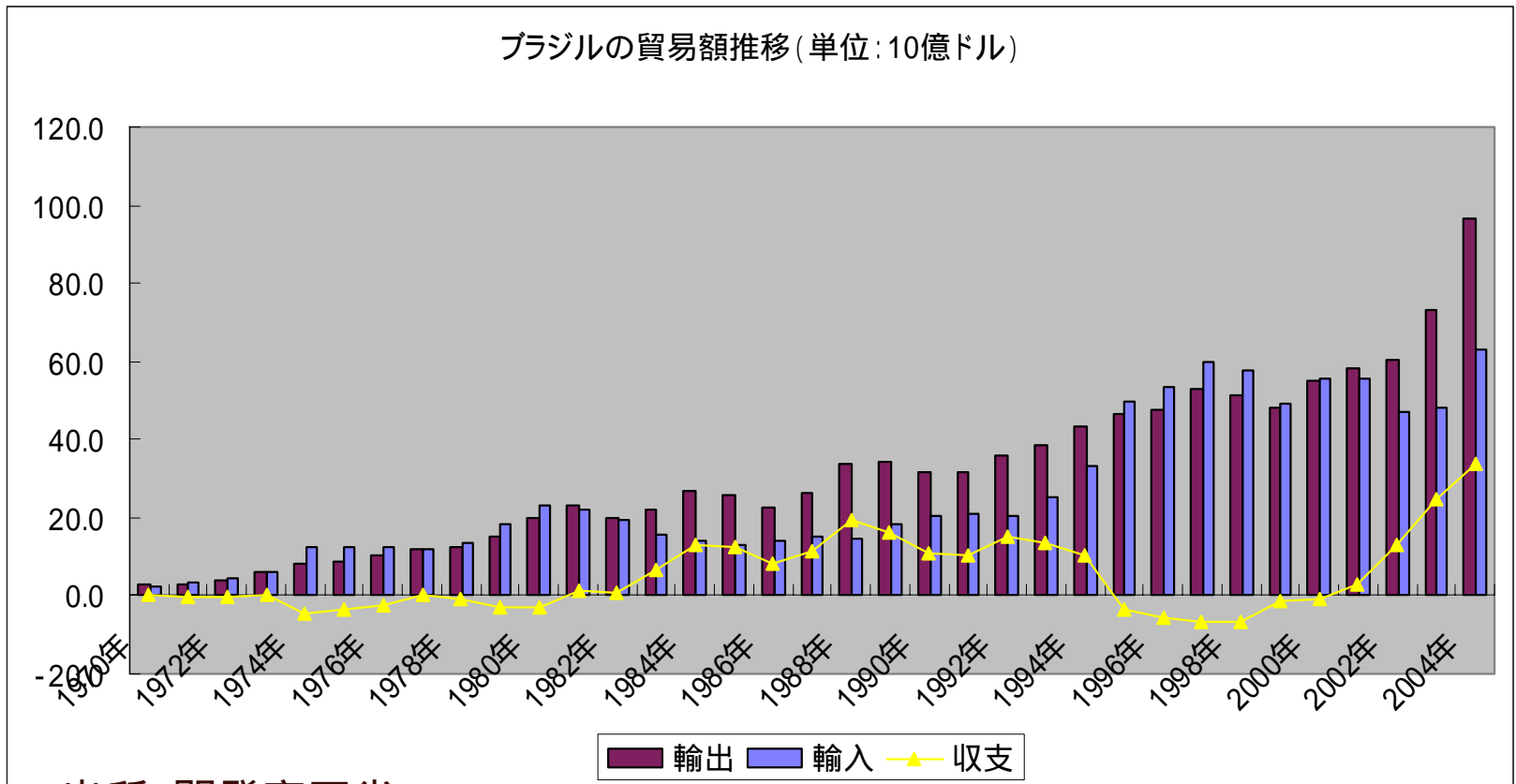
ブラジルコストの問題



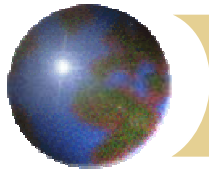


ブラジルの貿易動向

急速な輸出増加で貿易収支拡大。



出所:開発商工省



ブラジルの貿易動向

表1 ブラジルの主要商品別輸出入(2004年)

(単位:100万ドル, %)

	2002年		2003年		2004年	
	金額	金額	金額	構成比	伸び率	
輸出総額(その他を含む)	60,362	73,084	96,475	100.0	32.0	
一次産品	16,952	21,179	28,518	29.6	34.7	
大豆	3,032	4,290	5,395	5.6	25.7	
鉄鉱石	3,049	3,456	4,759	4.9	37.7	
大豆かす	2,199	2,602	3,271	3.4	25.7	
原油	1,691	2,122	2,528	2.6	19.1	
鶏肉	1,335	1,710	2,494	2.6	45.9	
半工業製品	8,965	10,944	13,431	13.9	22.7	
鉄鋼(半製品)	1,410	1,619	2,115	2.2	30.7	
パルプ	1,160	1,744	1,722	1.8	1.2	
粗糖	1,111	1,350	1,511	1.6	11.9	
工業製品	33,000	39,653	52,948	54.9	33.5	
乗用車	2,005	2,656	3,351	3.5	26.2	
航空機	2,335	1,939	3,269	3.4	68.6	
圧延鋼板	813	1,410	2,007	2.1	42.3	
自動車用エンジン・同部品	1,341	1,674	1,972	2.0	17.8	
自動車部品	1,159	1,488	1,961	2.0	31.8	
靴	1,516	1,622	1,899	2.0	17.1	
輸入総額(その他を含む)	47,240	48,291	62,782	100.0	30.0	
資本財	11,643	10,350	12,126	19.3	17.2	
工業用設備・機械	4,367	3,426	3,280	5.2	4.3	
事務・科学機器	2,258	2,110	2,673	4.3	26.7	
原材料および中間財	23,447	25,824	33,495	53.4	29.7	
化学・薬品	7,297	7,535	9,637	15.4	27.9	
中間製品(部品)	3,785	4,154	5,589	8.9	34.5	
鉱産品	3,062	3,598	5,066	8.1	40.8	
輸送用機器アクセサリ	3,566	3,705	4,905	7.8	32.4	
その他農業用原材料	1,616	2,275	3,473	5.5	52.7	
消費財	5,910	5,539	6,859	10.9	23.8	
非耐久消費財	3,400	3,121	3,672	5.8	17.6	
医薬品	1,211	1,248	1,454	2.3	16.6	
食料品	1,085	924	1,058	1.7	14.5	
耐久消費財	2,509	2,417	3,187	5.1	31.8	
個人用の装飾品、他	684	714	919	1.5	28.8	
燃料および潤滑油	6,240	6,579	10,302	16.4	56.6	

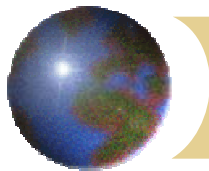
(出所) 開発商工省貿易局

表2 ブラジルの主要国・地域別輸出入(2004年)

(単位:100万ドル, %)

	2002年		2003年		2004年	
	金額	金額	金額	構成比	伸び率	
輸出総額	60,362	73,084	96,475	100.0	32.0	
米国	15,354	16,692	20,038	20.8	20.0	
アルゼンチン	2,342	4,566	7,373	7.6	61.7	
フランス	3,182	4,240	5,917	6.1	39.4	
中国	2,520	4,533	5,440	5.6	20.0	
ドイツ	2,537	3,136	4,036	4.2	28.7	
韓国	2,342	2,740	3,948	4.1	44.0	
日本	1,817	2,200	2,904	3.0	31.6	
イタリア	2,098	2,316	2,768	2.9	19.8	
ロシア	1,461	1,886	2,546	2.6	35.4	
スペイン	1,525	1,716	2,190	2.3	27.7	
英国	1,769	1,896	2,117	2.2	11.5	
インド	1,120	1,556	1,984	2.1	27.9	
輸入総額	47,240	48,291	62,782	100.0	30.0	
米国	10,286	9,565	11,337	18.1	18.5	
アルゼンチン	4,743	4,676	5,572	8.9	19.3	
ドイツ	4,419	4,200	5,072	8.1	20.6	
中国	1,554	2,146	3,710	5.9	72.7	
インド	1,095	1,517	3,499	5.6	130.8	
日本	2,348	2,520	2,868	4.6	13.8	
韓国	1,777	1,766	2,287	3.6	29.4	
イタリア	1,762	1,736	2,053	3.3	18.2	
アルゼンチン	999	1,116	1,935	3.1	73.6	
韓国	1,067	1,076	1,730	2.8	60.3	
中国	649	826	1,390	2.2	69.3	
英国	1,345	1,206	1,355	2.2	12.5	

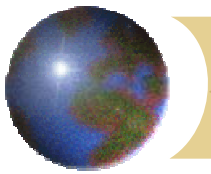
(出所) 開発商工省貿易局



ブラジルの主要企業

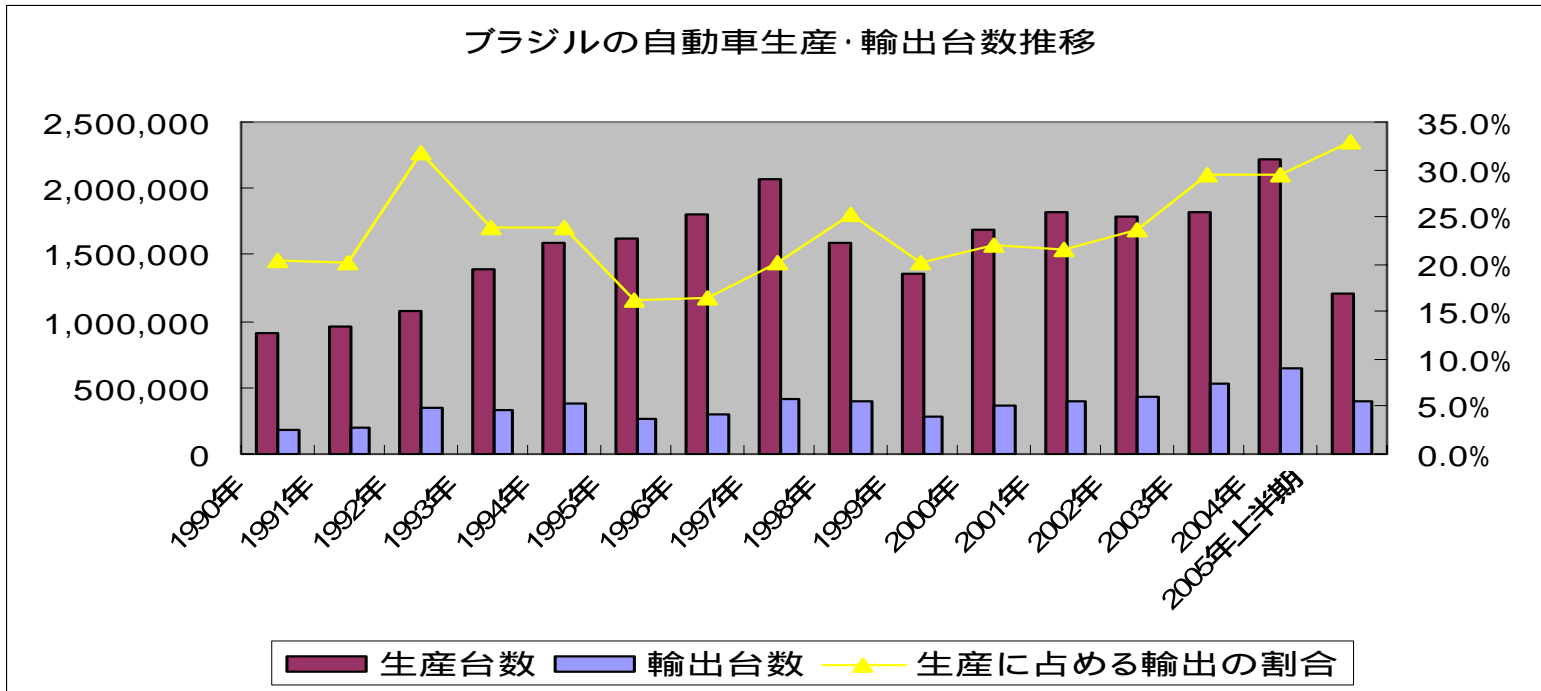
順位		企業名(資本国籍)	業種	売上高(100万米ドル)	前年比増減(%)	実質利益(100万米ドル)
2004年	2003年					
1	1	ペトロbras(国営)	化学・石油化学	47,855.2	1.7	6,002.1
2	2	ペトロbras・ディストリブイドーラ(国営)	卸売・貿易	13,531.7	4.6	153.6
3	3	テレマール(伯)	電話通信	7,696.1	-0.4	370.3
4	4	テレフォニカ(西)	電話通信	7,256.5	4.0	846.0
5	5	CBB/AMBEV(伯)	食品・飲料	7,055.8	7.9	261.5
6	7	フォルクスワーゲン(独)	自動車	6,868.2	N.A.	N.I.
7	6	イピランガ(伯)	卸売・貿易	6,405.9	3.5	82.9
8	9	GM(米)	自動車	6,260.7	N.A.	N.I.
9	15	プラスケン(伯)	化学・石油化学	5,553.0	35.7	246.1
10	13	バレ・ド・リオドセ(伯)	鉱業	5,543.2	23.5	2,819.5
11	11	ブンゲ(バミューダ)	食品・飲料	5,403.6	N.A.	147.2
12	61	ゲルダウ・アソミナス(伯)	鉄鋼業	5,157.2	N.A.	919.4
13	8	シェル(英・蘭)	卸売・貿易	5,118.3	N.A.	N.I.
14	19	カーギル(米)	食品・飲料	5,095.3	31.6	54.3
15	10	ブラジル・テレコム(伯)	電話通信	4,951.2	3.4	162.3
16	14	カレフル(仏)	小売業	4,565.7	N.A.	N.I.
17	12	パン・デ・アスーカル・グループ(伯・仏)	小売業	4,361.7	-7.6	107.2
18	22	フィアット(伊)	自動車	4,145.7	20.4	-185.0
19	24	ナショナル製鉄(伯)	鉄鋼業	3,993.6	26.8	995.4
20	20	エレクトロパウロ・メトロポリターナ(伯)	公共サービス(電力)	3,943.5	5.4	135.4

注: N.A.は"not aplicable", N.I.は"not informed"
 出所: Exame "Melhores e Maiores" 2005年7月

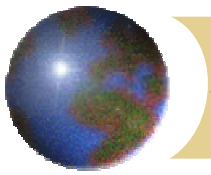


過去最高を記録する自動車生産

- 自動車生産台数は2004年に221万台を記録。輸出台数も過去最高の65万台を記録。

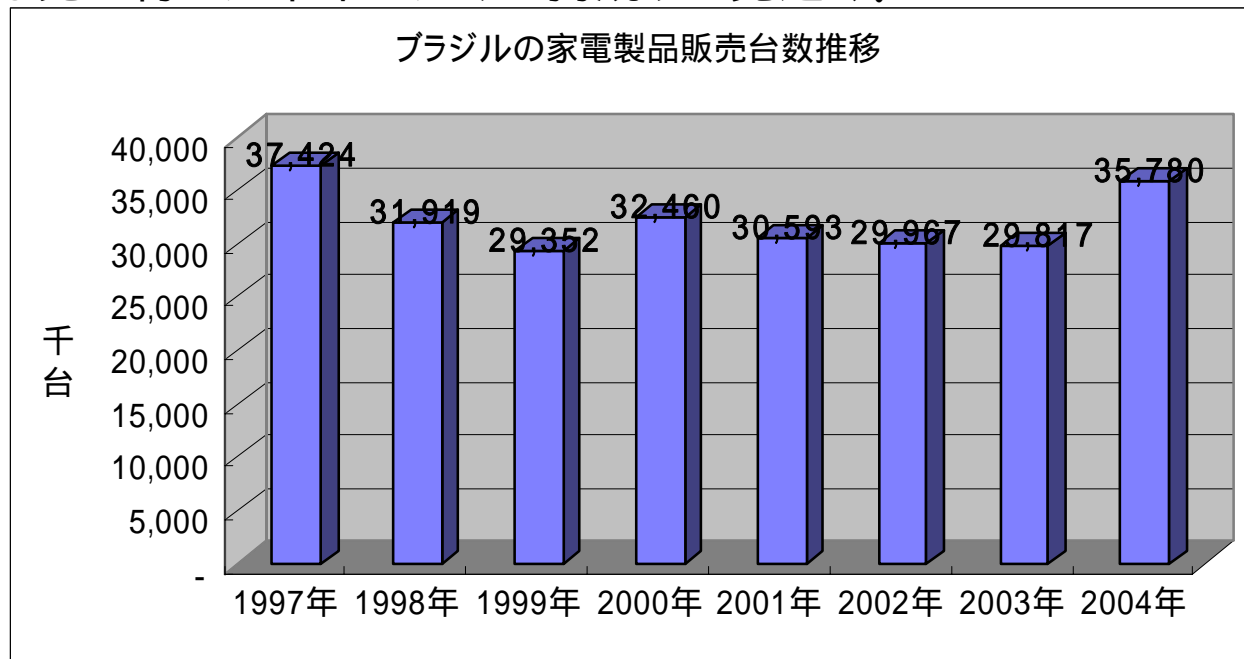


出所: Anfavea

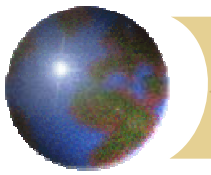


回復に向かう家電市場

- 2004年における家電製品販売台数は前年比20%増の3,578万台となった。テレビの販売台数は700万台を越える。2006年はワールドカップ年なので好調な売れ行きが来年にかけて持続する見込み。

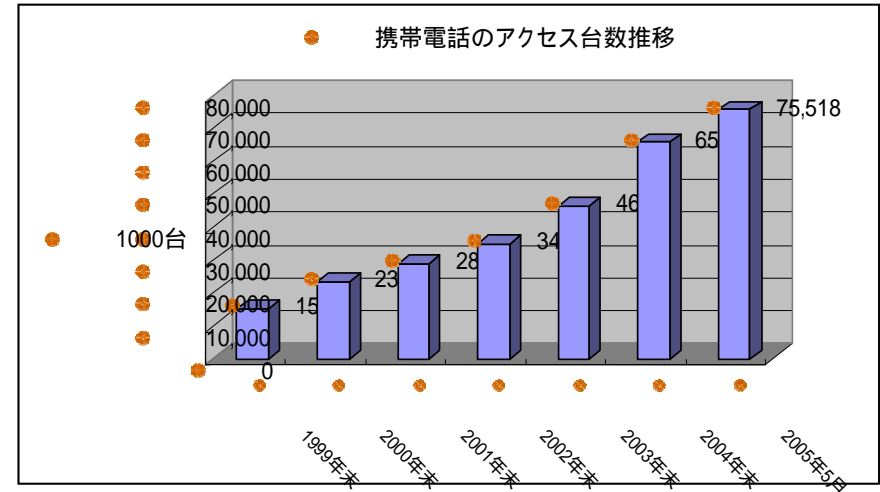


出所: Eletros



情報機器の普及率

携帯電話は近年で最も普及した情報機器のひとつ。いまや国民の4割が携帯電話を持つ計算となる。プリペイド式携帯が普及しており、通信方式はGSM, CDMAなど。

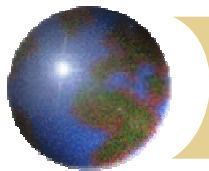


出所: Anatel

表 パソコンの世帯普及率

	世帯数	割合
世帯数全体	49,142,171	100%
保有世帯数	7,511,253	15.3%
ネット接続環境有り	5,623,828	11.4%

出所: IBGE



さらに拡大可能なアグロビジネス

表 ブラジルにおける大豆生産推移
単位:千トン、千ヘクタール

年	ブラジル		
	生産量	収穫面積	平均収量 (kg/ha)
1993	22,591	10,635	2,124
1994	24,932	11,525	2,163
1995	25,683	11,675	2,200
1996	23,167	10,299	2,249
1997	26,393	11,486	2,298
1998	31,307	13,304	2,353
1999	30,987	13,061	2,372
2000	32,821	13,657	2,403
2001	37,907	13,985	2,711
2002	42,125	16,365	2,574
2003	51,532	18,469	2,790

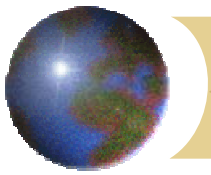
出所:農務省

表 ブラジルの食肉生産量推移

年	牛肉(千トン)	鶏肉(千トン)	豚肉(千トン)
1994	6,094	3,411	1,330
1995	6,768	4,050	1,470
1996	6,794	4,052	1,560
1997	6,413	4,461	1,540
1998	6,528	4,875	1,699
1999	6,582	5,526	1,834
2000	6,567	5,977	2,556
2001	6,911	6,736	2,730
2002	7,155	7,517	2,872
2003	7,629	7,843	2,698

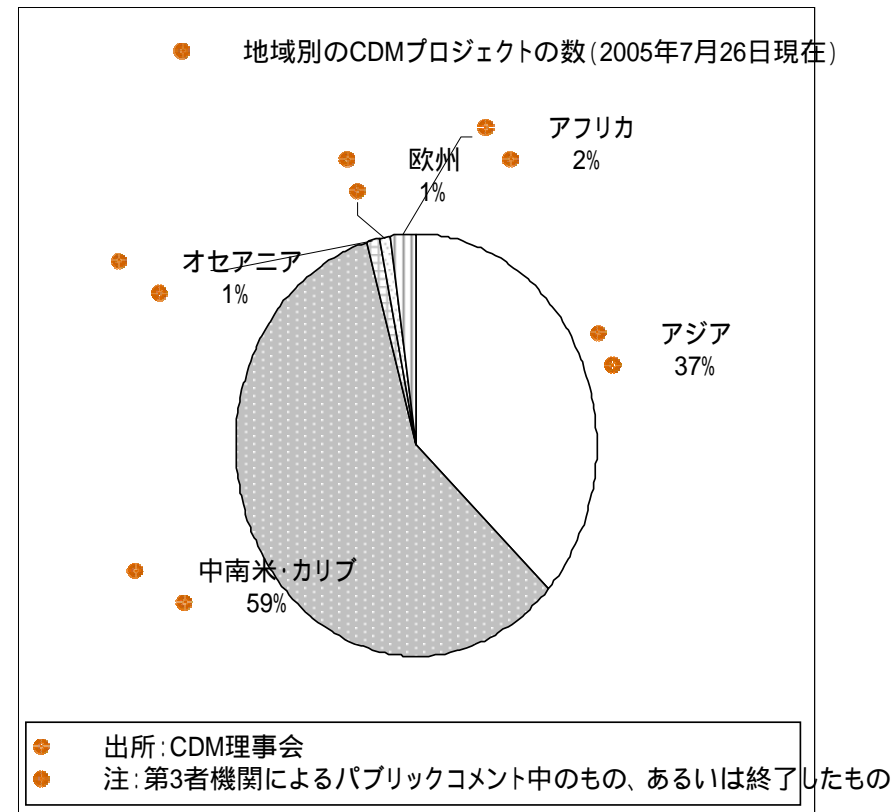
出所:牛肉はFNP Consultoria、鶏肉はブラジル鶏肉生産輸出者協会(ABEF)、豚肉はブラジル豚肉生産輸出工業協会(ABIPECS)。

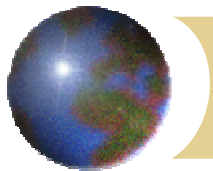
•大豆、鶏肉、豚肉の生産量はここ10年に倍増。海外の需要にあわせてさらに拡大余地も。



先行する中南米のCDM

- 中南米諸国では政府の体制作りが進んでおり、現在、第三者機関によるパブリックコメント(審査)を受けるか、あるいはそれを終了した段階にあるプロジェクトが76件、登録審査中が5件、登録されたものが6件と地域別では世界で最も多い。国別ではブラジルの案件が圧倒的に多い。



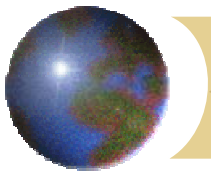


ブラジルの技術



- ✦ **航空機産業**：世界で第4位の航空機メーカー、エンブラエル社
- ✦ **エタノールの生産技術**：ブラジルのガソリンには25%のエタノールを混合。また月間自動車販売台数のうち、半分以上がガソリン、アルコール両方の燃料で走れるフレックス車。
- ✦ **海底油田の掘削技術**：世界で石油採掘事業を行うペトロブラス。





日伯経済関係

- ❁ **貿易シェアでは伸び悩み傾向**: 1997年の対日輸出額は全体の5.8% (31億ドル) を占めていたが、2004年に2.9% (27億6,800万ドル) に。ただし鳥インフルエンザによる鶏肉輸出急増 (前年比115.0%増) をはじめ新たな原料供給地として注目を集めた。一方の輸入は1997年に5.9% (35億ドル) であったが、2004年には5.2% (28億6,800万ドル) に。自動車部品、ベアリング等日系現地法人関連品目が中心。国別順位は輸出で8位、輸入で6位。
- ❁ **特定分野に集中する対伯投資**: 日本企業によるブラジルへの投資額は2004年に2億4,300万ドル (シェア1.2%、国別14位) と前年の13億6,800万ドル (10.6%、国別4位) から大きく減少した。これは前年に日系商社による大型投資案件があったことによる。最近の投資分野は、輸送機械関連、鉱山・鉄鋼業、食品、パルプ等資源加工型産業に集中。

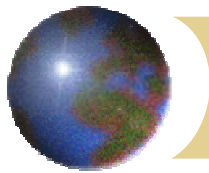
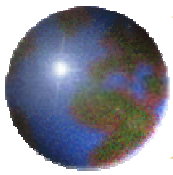


表3 ブラジルの対日主要品目別貿易(2004年)

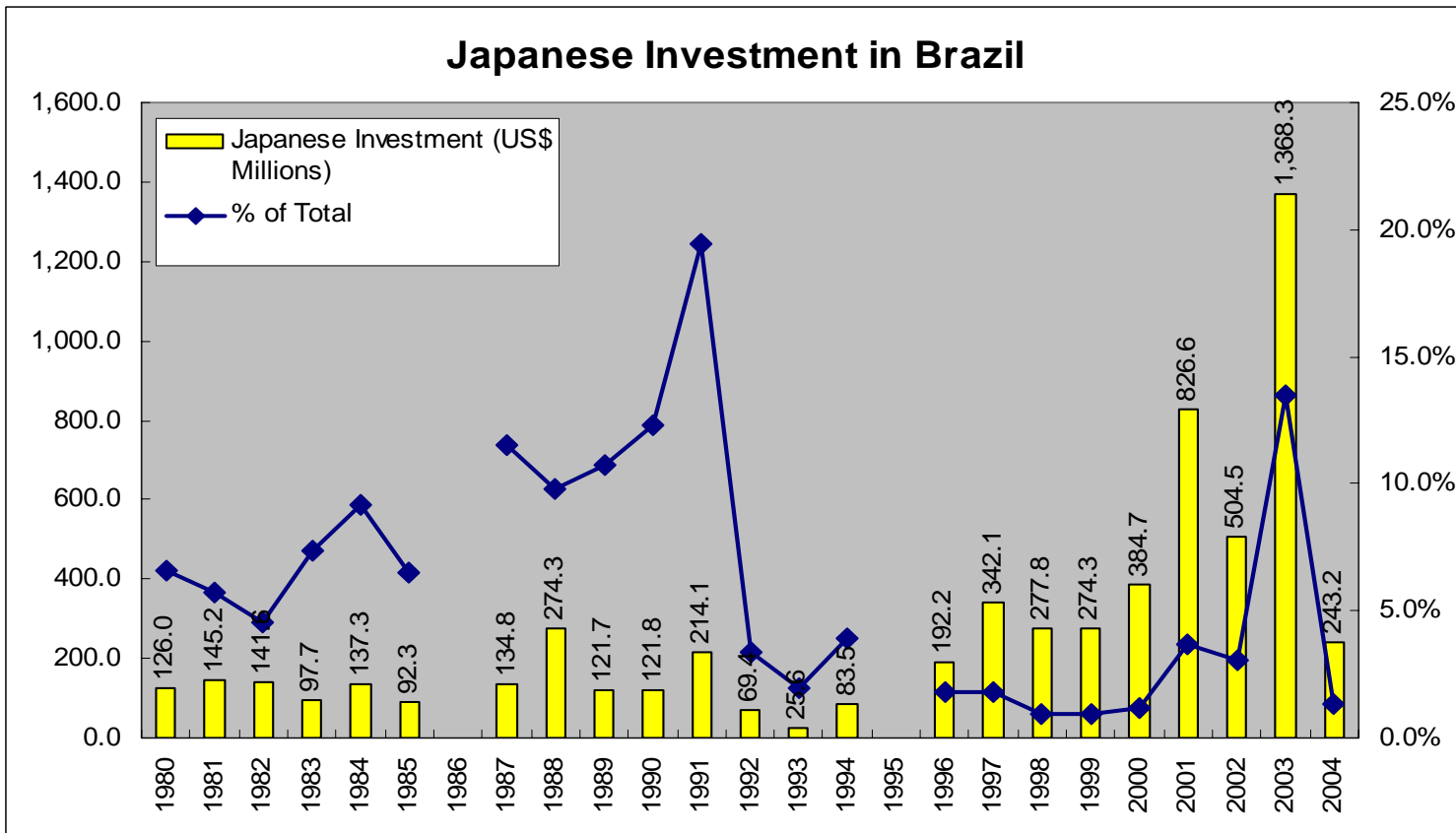
(単位:100万ドル,%)

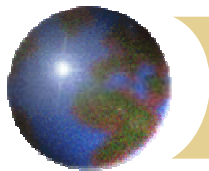
	輸出			
	2003年		2004年	
	金額	金額	構成比	伸び率
鉄	457	516	18.6	12.8
鶏肉(冷凍)	237	509	18.4	15.0
アルミニウム	383	374	13.5	2.4
コーヒー	115	133	4.8	15.9
合	116	121	4.4	3.9
パル	116	109	3.9	6.7
大豆	140	97	3.5	30.5
工機	35	87	3.2	53.3
タバコ	76	68	2.5	10.8
その他	49	58	2.1	17.3
合計	586	696	25.1	18.8
合計	2391	2766	100.0	19.8
輸入				
	2003年		2004年	
	金額	金額	構成比	伸び率
自動車部品	201	288	10.0	43.0
ベトナム産歯車及び同部品	126	164	5.7	30.4
集積回路	139	138	4.8	0.6
自動車エンジン及び同部品	97	120	4.2	23.1
乗用車	64	86	3.0	33.8
自動データ処理機器部品アクセサリ	67	81	2.8	22.2
コネクタ	38	79	2.8	109.6
測定機械	69	79	2.7	14.6
送受信機	69	77	2.7	11.7
複素環式化合物	53	74	2.6	40.5
その他	157	168	58.6	5.3
合計	2590	2866	100.0	13.8

(出所) 開発商工省貿易局



日本からの投資動向





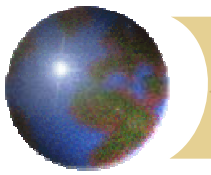
ブラジルに進出している主要日 系企業

表 ブラジル企業売上高上位500社にランクインした進出日系企業(合併を含む)

順位		企業名	業種	売上高 (100万米 ドル)
2004年	2003年			
26	30	ウジミナス(日・伯)	鉄鋼業	3,466.9
36	45	コジッパ(日・伯)	鉄鋼業	2,590.1
71	63	モトホンダ	二輪製造	1,337.4
78	83	トヨタ自動車	自動車	1,229.0
169	165	ブリジストン・ファイヤストン	プラスチック・ゴム	640.4
230	273	センプ東芝	電気電子	503.6
254	228	セニプラ	紙・パルプ	447.9
259	328	ソニー	電気電子	440.1
342	299	味の素	食品・飲料	340.3
348	343	パナソニック・ダ・アマゾニア	電気電子	328.4
395	362	ホンダ自動車	自動車	286.3

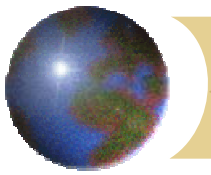
注:進出日系企業の国籍定義は原則としてExame誌による。ただしセンプ東芝は原典でブラジル国籍との表記があるが、東芝による出資があるため本表では日系進出企業に含めた。

出所: Exame "Melhores e Maiores" 2005年7月



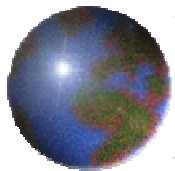
活性化する日伯経済関係

- ❁ **2005年上半期の貿易シェアは増加傾向**：2005年上半期における対日貿易は、輸出が前年同期比33.9%増の16億3,300万ドル、輸入が同26.9%増の16億2,900万ドルとなり、輸出入ともに全体より高い伸び率を記録。全体では輸出額23.9%増、輸入額20.2%増。日系企業の活動が活発化。
- ❁ **首相の相互訪問実現**：2004年9月14～16日に小泉首相が来伯。また、2005年5月26～28日にルーラ大統領の訪日も実現。
- ❁ **新たなビジネスの可能性**：CDMをはじめとする環境関連、食料資源関連、中間財ビジネスなど。

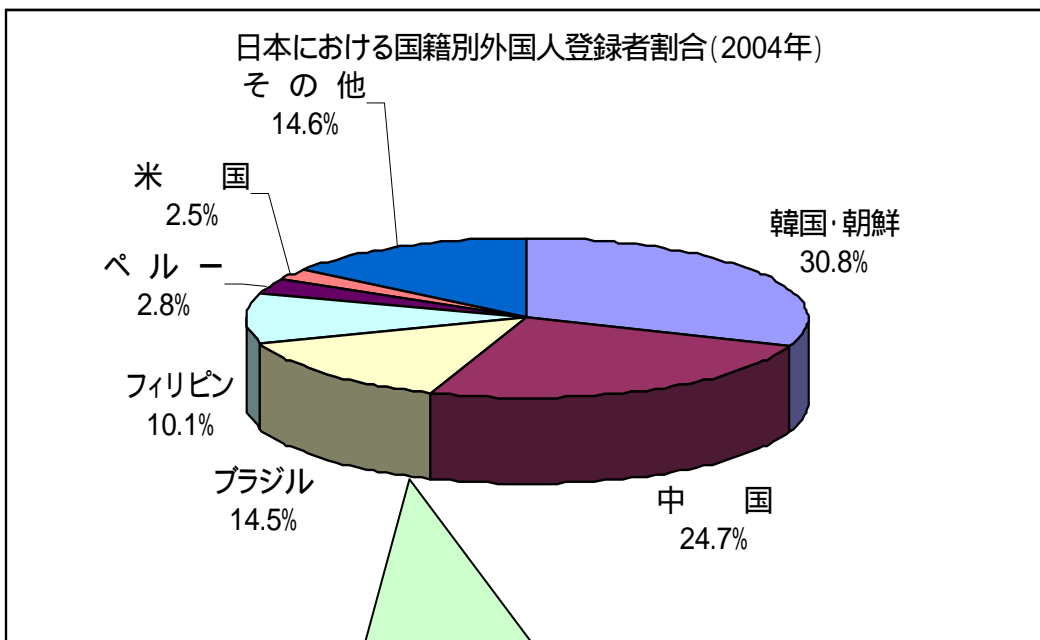


ブラジルの日系人の存在

- ❖ 150万人いるといわれる日系人。日本には出稼ぎを中心にうち29万人が在住。
- ❖ 日系進出企業の多くで重要なポストを占める日系人
- ❖ 経済、政治、文化・芸術、あらゆる分野で活躍する日系人



29万人の出稼ぎブラジル労働者

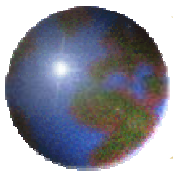


外国人登録者数全体は197万3,747人で、そのうち14.5%がブラジル人

表 都道府県別ブラジル人登録者数(2004年末時点)

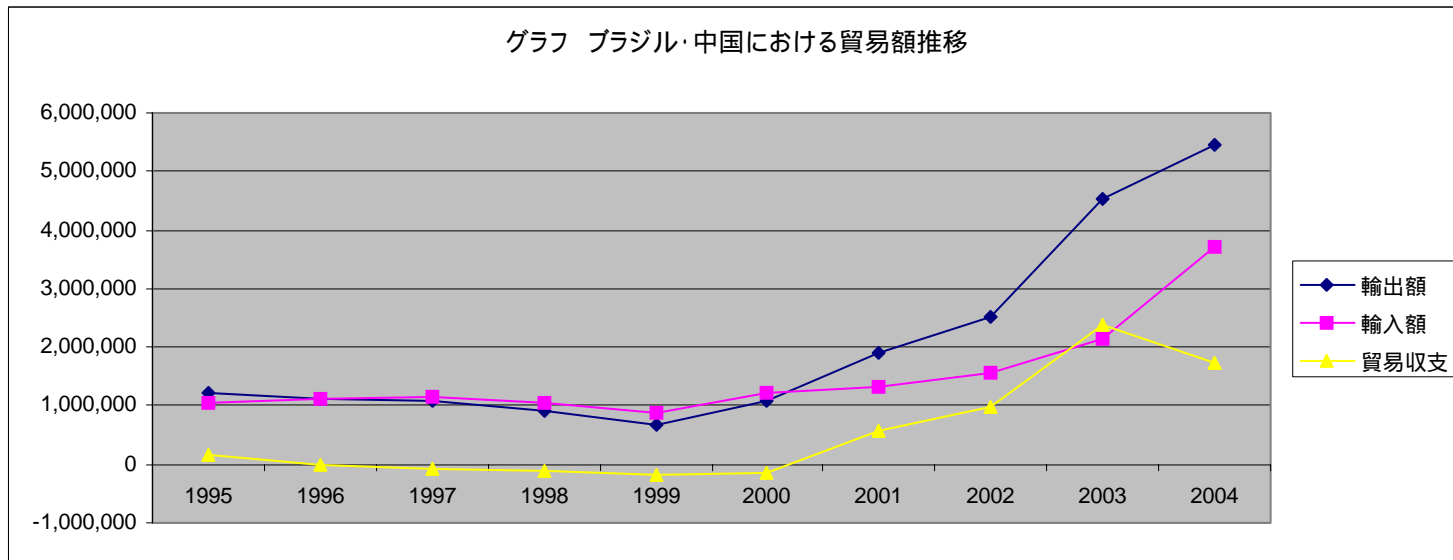
都道府県	人数
愛知県	63,335
静岡県	44,248
三重県	18,157
長野県	17,758
岐阜県	17,596
群馬県	16,455
埼玉県	14,030
神奈川県	13,860
滋賀県	12,128
その他	68,990
合計	286,557

出所:法務省

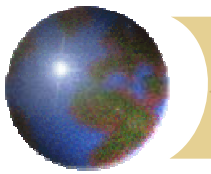


緊密化する伯中経済関係

- **増加する貿易額**：中国は大豆、鉄鉱石など資源を輸入し、電気・電子部品など工業製品をブラジルへ輸出。ブラジルの国内産業は輸入品流入に警戒感も。

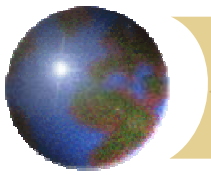


- **首脳の相互訪問が実現**：ルーラ大統領が2004年5月に中国を訪問、中国からは胡錦濤国家主席が同年11月にブラジルを訪問。



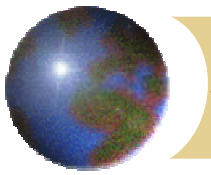
欧米企業によるブラジル戦略

- 欧米企業にとって、地理的、民族的な背景から中南米は
いわば“裏庭”。
- 中南米市場全体を視野に入れた製造拠点。(自動車、家
電製品の輸出は中南米向けが中心)
- FTAの進展で中長期的に北米、欧州、アフリカ、中東な
ど世界に向けた輸出拠点と位置づけた展開。(例えばV
Wはコンパクトカーの欧州向け輸出を2005年から開始)
- 豊富な資源、土地、人口に裏付けられた魅力的なビジネ
ス拠点。(ブラジルで存在感を強める欧州系鉄鋼メー
カーや穀物メジャー)



なぜ、ブラジルミッションか？

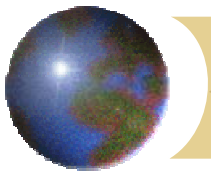
- ブラジルのポテンシャルティ
- 残された数少ない巨大市場
- 日本での低い認知度
- ブラジルは自分の目で確かめないとわからない。



ミッションのグループ分け

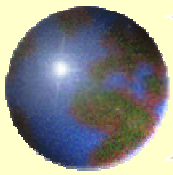
訪問先別で分類

1. 四輪・二輪・航空機等の輸送機器
2. 電子電機・食品加工業等
3. CDM関連企業



スケジュールの作成にあたって の考え方

- 投資・ビジネス拡大セミナー
- 日系・欧米系・アジア系企業などの工場訪問・意見交換
- 進出企業などとの情報交換



是非ミッションへ参加を！

